ヒトのからだーやさしさのある衣服作りのためにー

若年女子におけるからだの変化と衣服設計の問題点

ー1978 と 1998 と比較してー

○坂倉 園江 (名古屋女子大学)

The human body —to make the clothing suitable for it—

The changing forms of young women's and difficult points of clothing—comparing the two year data of 1978 and 1998—

Sonoe Sakakura (Nagoya Women's Univ.)

私は大学に勤めて約 40 年になります。その間、前半の約 20 年は“被服構成学および実習”という授業を担当し、設計から製作、試着までを指導してきました。後半の約 20 年は被服設計製図のための着衣基体と被服との関わりを次の授業の中で教えています。

“人体美学”(内容は美術解剖学的な授業)で、人体がどう構成されているか、それらがシステムの動的機関である事が理解出来るよう指導します。そして“被服構成学実験”の中で、人体と被服との関わり実験を通して理解させます。その上で被服教育の目的でもある、体表形態から被服の設計へ、いかにつながるかを考えさせています。そうした授業の中で、着衣基体として、詳細に眺めてみると、若い女性の体型に左右差や、ねじれなど、美しくない姿勢や、いびつな形態が近年とみに目につくようになったと実感していますが、今年は学生の中から自分の体の歪みや左右差におどろき、矯正する方法がないのか、とても肩凝りがつらいとうったえられ、それに同調する学生も 2・3 にとどまりません。

人の身体を考える時、今 2 つの問題が思い浮かびます。1 つは健康で活力ある長い人生

の土台として、地球の引力と拮抗し疲れにくい、しかも美しい体を作る事は重要な事であるという事、今 1 つは私達が、着装上の美の創造性を養成し着心地の良い衣服を作るといふ、被服教育本来の目的を指導するのと同時に、あるいはそれ以前に体形の左右差や、それにともなう衣服のねじれを整えるための補正に多くの時間を費やしていますが、授業時間数の減少傾向にある、指導教員にとってわずらわしい問題としてのしかかっている事です。

服を支える肩部やウエストから服が、スカートが自然に下垂し、身体にそい、ひきつれや、たるみもなく、美しく、服は着装されなければなりません。少し大仰な言い方になりますが、美しさだけではなく、人間の品性にも関わってくると思われます。

それら身体の形態について、実態を明らかにする事が必要と考えようになった折り、本日の課題となった次第です。

約 20 年位前の学生と、今年度の入学生とを比較してみようと思いたち、1978 年度の学生と比較してみましたので御報告いたします。資料は約 30 年位前から入学生の体型写

真は撮影し、1/10 大に焼いて 集積して来た資料の中から選びました。同一条件で撮影した約 100 名づつの学生の中から、資料として使える 1 年次学生を選び、1978 年度生 78 名、1998 年度生 75 名について、今回の資料として 1/5 大に可能な限り正確に印画紙に引き伸ばしました。

撮影条件は CONTAX RTS 型カメラに 80mm のレンズを用いて、位置を定めて 4 方向より焦点距離 5m で撮影、なお被験者の立位設定位置約 30cm 側方に垂直線をたらし、その横に計測用目盛板を垂直に設置。

被験者は、ナチュラルな下着の上に競泳用水着（少し大きめのもの）を、着用し、中央に黒線を入れた 2 cm 幅のインサイドベルトを自然に巻き、計測点および襟ぐり、腕付根線を体表上にマジックで入れる。

- 資料は
- ・撮影直前に採取した、衣服用計測項目
 - ・1/5 大写真から体型把握のための鉛直距離を計測、2 人で見直したもの

計測項目は、今回の体形の違いを把握するための項目を設定した。

- ・高径の左右差項目＝頸側点（S.N.P）、肩峰点（S.P）、胸囲両側点、下半身最大両側点の 4 項目
- ・幅径の左右差項目＝頸側点、肩峰点、胸囲位、下半身最大幅径、ひざ位、足首位の 7 項目

計測値の求め方：ISO に準じて左を基準

高径：右計測値－左計測値

幅径：各計測部位の幅中央点が、基準線の左右いずれにどれだけずれたかを測定した。

- ・左右のねじれ＝頸側点、肩峰点の 2 項目
なおねじれ測定のため作製した資料と異

なるため胸部、腰部および頭部が計測不能である、そこで一部目測をしてみた。

- ・プロポーション＝身体各部位における長径項目

若年女子における'78 年と'98 年の体形にどんな変化がおきているか、以下に示す項目について報告します。

1. 体格について

身長・体重・ローレル示数

2. プロポーションについて

- ・全身プロポーション
- ・部位別プロポーション
(服種を 1 部含む)

3. 体形について

- ・肩部形態について
- ・正面形態における左右の高径差
左右の幅径差
- ・側面形態におけるねじれと姿勢（背柱の彎曲による躯幹部の動き）

4. 衣服設計上の問題点